令和元年度

Global Can-do



Ш

□ Global Can-do List 作成のねらい 口表の見方

地歷公民科 社会科 国部科 国語科 高等学校 南等学校 中学校 中学校

数字科 数学科 車 高等学校 高等学校 中华校

保健体育科 保健体育科 理 高等学校 中学校 中华校

芸術科 (音楽) 芸術科 (美術) 音楽科 美術科 高等学校 高等学校 中学校 中学校

外国語科 英語科 家庭科 高等学校 南等学校 中学校

未来航路 家庭科 技術科 中学校

次

Д

9 ∞ 0 ъ, P 1 1

1 6 P 1 5, P 1 2 P 1 3 P 1 4

2 0 P 19, P 1 7 P 1 8

P 2 2 P 2 1 P 2 3 P 2 4

P 2 7, 28 P 2 5 P 2 6

.

□Global Can-do List 作成のねらい

STUDIES」では、中学校・高等学校の教職員が連携・協力し、全教科・科目で授業改善 を行い,グローバル・リーダーに必要な5つの資質・能力をすべての授業の中で育成す 本校のスーパーグローバアハイメクール事業の研究開発単位の一つである「GLOBAL ることを目指しています。

この Global Can-do Listは,中・高の教職員間,そして,生徒とも共有しながら,3年間 あるいは6年間をかけて,5つの資質・能力を育てるための到達度目標表です。

今後,この Global Can-do Listの中で示した「目指す生徒像」の育成を目標に,各数科で **桜業改善に取り組むとともに、継続的に効果の検託および授業評価・改善を図ります。**

口表の見方

①目指す生徒像:

通して、卒業時までに到達を目指した 資質・能力の面から, 各教科指導を い岡山操山生の姿(目標)

社会貢献 の意識

課題解

①目指す生徒像 2 資質 幅広く い能力

・能力 深い教養 決能力

③ 解 説

教科)

Global Can-do List (校種

②5つの資質・能力::

=グローバルな課題を理解できる国 ・幅広く深い教養

際的な素養がある 課題解決能力

= グローバルな視点で課題を発見し, 論理的に解決策を考えることがで 10 tu

= 多様な人の考えや価値観を理解し、 ・コミュニケーション能力

2 年

1年

自分の考えを伝えることができる =主体性と協働性を持ってチームを ・リーダーシップ

動かすことができる

・社会貢献の意識

= 岡山・日本・世界のために貢献しようとする

③解説:各教科で育成を目指す5つの資質・能力の解釈(具体的内容)

未来航路の GlobalCan-doListは、様式が異なります *

Global Can-do List (高校 国語)

目指す生徒像:豊かな心情と広い視野を持って, 国際社会における国家の基盤としての国語を尊重し, その継承と向上を図ることのできる生徒

Na
o _N 資

【現代文】 様々な文学作品を 学び、意見や感想を文章 化する活動を通じて、言 論によって社会とつなが りを持つことを知ること ができる。	【現代文】 様々な文章を通じて社会 に対する理解を深め、自 己と社会の関係について 考察し、社会の一員とし での自分を自覚すること ができる。	【国語総合】 様々な文章を通じて社会 に関する文章を得ると共 に、社会における自己の 立場や役割を知ることが できる。
【現代文】 様々な念えができる事 柄に関する後表や討論に 際して、それぞれの立場 を尊重しながら相互の意 見交換が円滑に行われる よう取り計らうことがで きる。	「現代文」 発表や計画の場で、テー でについて自体の異なる 考えを単画しながら互い に意見を交換し、考察を 深めるよう努めることが できる。	【国路総合】 第表や指摘の場で、テーマについての複数の考え を分類したり統合したり できる。
現代文分斯 (現代文] 様々な文学作品に 関サる意見や感想を話し 国 方でり、文章化して相 互に批評し合ったりする ことができる。	【現代文】 様々な文学作品を 能んで、自分なりの意見 を感想を持ち。それを第 表や討論の場で的確に表 我し、また相手の意見に も耳を傾けることができ る。	【国語総合】 様々な文章を読んで自分 なりの意見を掲した ち、それを適切に他者に 伝えたり他者の意見に耳 を傾けたりすることができる。
(現代文) 様々なジャンルの評論を 通じて、前近代、近代、 思近代やれぞれの立場や 思想に関する理解を深 め、課題を巨脚的な視点 で捉え、解決策を探るこ とができる。	【現代文】 様々なジャンルの評論を 通じて、近代を中心にそ の前後の時代が中央で った思想の特徴を理解 し、そこから現代社会の 課題について考え今の社 会の任り才を見道でうと することができる。	【国語総合】 様々なジャンルの評論を 通じて、現代社会や人間 の在りようにおける課題 について知り、問題意識 を持つことができる。
【現代文】 常用減少の部分書きに習 熟するととわに、自身な 取り参く様々な価値観が 近代的な知の枠組みに依 存して成り立っているこ とを理解することができ る。	【現代文】 常用減少の部分書きが定 着するとともに、近代以 降の様々な文章の部階を 通して、ものの見方、感 じ方、考え方を深め視断 を広げることができる。	【国語総合】 常用減少の膨み書きが定 着するとともに、近代以 降の様々な文章に触れ、 誘解力を身に付けること ができる。
62 計	2年	1年

	【古典】 上典文法や古文単語に関 古典文法や古文単語に関 古 イタ知識が定着してお 人 人 り 保事等をはまんど も	【古典】 を指述している知識が、古 定着しており、整語につり、 を指しており、整語につり、 をついて一道り 理解してい をついて一道の表別に関する。 をのは、 をのが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、	[国語総合] 動詞・助動詞・助詞等の 古身 和編詞に、一道 りの 思想 和編書詞に、一道 りの 思想 を選択するであり、 たまままままままままままままままままままままままままままままままままままま
	「古典」 古典に表現されている先 人たちの価値報を担解し ろとで、現代社会におけ る人間の生き方や価値観 やチーマを設定して考え や意見を深めようとする ことができる。 ことができる。	「古典】 古典を読むことを通じて 学んだ先人たちの類様や がが着い。 では今の在り方を見ばそうとすることができる。 ができる。 ができる。	「国語総合」 古典の文章に表現された 思想や現構を踏み取り、 相一社会・自然等について考察し、 いて考察し、見識を深め ようとすることができる。。
古典分野	【古典】 グループ目動での話し合いなどを適じて互いの意見を交換し、古典に関する共通関係や共通認識を 作り上げることができる。 他者の意見を関きとって 理解し、相互に伝えらう ことでお互いの理解を深めることができる。	「古典」 山東の表現や背景の知識 に基づいて、古典の内容 や離かについてカループ で議論することができる。 る。 が一一活動を通じて、 他者の意見を開き、それ を踏まえて自分の意見を 伝えることができる。	【国路総合】 ペアワークやグループ語 動分が古典から影をの場面で、 市分が古典から記みとっ た内容や魅力について他 者に的確に伝えることが できる。
	古典] グループ指動などの場面 で、グループ内や他のグ ループの意見を開き取る ことに加え、既存の研究 なども参考にして、より よいものを生み出すこと ができる。	【古典】 グループ指動などの場面 で、グループ内や他のグ ループの意見を開き取 り、一つにまとめること ができる。	【国語総合】 発表や計画の観で、テー マについての複数の考え そ分類したり総合したり できる。
	古典] 古典を読んで学んだことを基に、よりよい社会の 在り方や自己と社会との関わり方について考察し、その内容を発信した。その内容を発信したり実践したりしようとすることができる。	(古典) 様々な古典を読むこと で、先んの生き方や社会 との関わり方を等び、そ の内容を表現しようとす ることができる。 日典の世界を通じて、自 日本価者との任り方、ひ いては社会の在り方につ いては社会の在り方にっ ができる。	[国語総合] 和が国や部立ことを通じて 我が国や東アジア文化圏 の伝統や文化に関する単 解や関心を深めることが できる。

00

Global Can-do List (中学校 国語)

通じて,自身の生活 を見つめ直し,社会 に貢献するための理 に置き換えて, 他者 への貢献の思いを文 章化することができ 確に理解する能力を高 を学ぶとともに、近現代の ながら他者と関わり、言語 会において、国語を適切 れてきたわが国の言めようとし、国語に対 文章を読むことで、自らの を通して適切に表現したり に運用して良好な人間 語文化を学ぶことをする認識を深め国語を 課題を発見し、論理的・科 正確に理解したりして、円 関係作りや健全な社会 通じて、社会に対す 想的な将来像を描く ことができる。 文章を読み,職業や ることについて見方 を広げ, 自分の立場 ・敬語や文法の学習 を通して正しい言葉 遣いを学び, 社会の くための素養を身に 付けることができ る理解を深めること 社会の仕組み, 生き 古典作品の学習を 一員として生きてい 長い歴史の中で育ま 古典・言語事項】 社会貢献の意識 ができること。 目指す生徒像:豊かな心情と広い視野を持って、国際社会における国家の基盤としての国語を尊重することができる生徒 | めることができる。 | ・グループのメンバー全 | 員が活動に参加できる ナを張り、その原因を見橋 に自分の意見を文章にし、 現を意識的に選択して めて誰もが希待する解決 それを握る・声能、抑動、表 用いることができる。 策を指案できる。 下が着原の表表 「 下が自己をができる。 ・他の近見を自分に置き機 とで聴家に分かりやすく伝 がり 自分の意見を発展 えることができる。 作りに積極的に関わる 激しく変化する現代社 うとすることができる 率先して司会を務めた り, ホワイトボード等を 活用して班員の意見を まとめたり,積極的に意 中心となって活動を進 ように気を配ったり、 様々な立場からの意見 集団の中で周囲と協調 しながら活動を進める をまとめ, 積極的に発表 ・聴衆に伝わりやすい表 より発展的な、聴衆を 惹きつける工夫のある ・自分の考えや班の意見 見を出したりするなど, を尊重したりするなど、 発表することができる。 リーダーシップ することができる。 ことができる。 授業 編件 滑に相互伝達・相互理解を 互いに協力しながら与えら れた役割を果たし,積極的 ・メモを活用して相手の話 を理解し,必要に応じて質 間や意見交換をすることが できる。 ・場面に応じた態度, 声の大 互いの立場や考えを尊重し グループ学習において、 に活動に取り組むことがで ・求められている発表時間 を守り, 聴衆を惹きつける ような工夫をすることがで 根拠となる体験や見聞を基 進めることができること。 コミュニケーション能力 きさで話すことができる。 授業 о Н И 造化してメモレ,根拠の有 無や論点,表現の工夫を捉 え,評価することができ 学的手法で解決しようと 【授業】 ・課題について,様々な角 建設的な意見を提案する 他の発表の内容・構成を構 ・常に社会の問題にアンテ 先人たちの知識や価値観 度から考え多様な意見の 共通点を見いだして,より から課題の解決策を複数 ・課題を解決するために、 することができること。 課題解決能力 考えることができる。 ことができる。 を通して現代にも通じ る古人のものの見方や 考え方に触れ、それを 基に人間の生き方につ 国語を適切に表現し正 尊重する態度を身に付 様々な説明文や文学作 自然などについて考 自分の思いを文章 和歌や随筆,漢文など いて考え文章化するこ 身の回りにある多様な 文字に触れて日本語に 関心を持ち,効果的に 品を読み, 人間, 社会, 文字を書くことができ え, 自分の思いを文章 化することができる。 [書写] 現代の書道作品など, 幅広く深い教養 けていること。 とができる。 授業 資質能力 解說 3年

_	[授業]	[授業]		[授業]	
	場で表示に関する部別 なや近代の文学作品を	・ 課題につい、 課題とな な文章中の表現を基に目 なのまえを適切な事だ。 伝えることができる。 ・ 出た意見を比較解析し、 筋力してよりよいな含え 考えることができる。 ・ 課題を解決するために、 他の意見や常し方の工夫 を的値に説え、自分の主義 ためずによ、自分の発表 に生かすことができる。	・ソルーン・学信において、 ゴルに協力しながら与えら れた役割を果たし、積極的 に活動に取り組むことがで 多る。 メキを活用して相手の語 を聞き取り、自分の考えと の共通点を相談を提える ことができる。 ・場面に応じた機能、声か、 きなで話すことができる。 きなで話すことができる。 また、適切な言葉や表現の 工夫について考え、推修す るしまができる。	・回流 光表者などの目 ・回流 光表者などの目 たし、意見の広がいや探 まりを楽しむことがで きる。 くの意見を引き出した り、編点を整理して軌道 修正したりすることが できる。 ・より良い生活を送るこ とができるよう、離談的 なは幾条ができる。	X華を招が、実験や 平和・文化などにつ いての見力を広げ、 社会の一員としての 自分の役割について 自分の役割について とができる。
	【古典・言語事項】 短報や随業、認識等を 通して、古人のものの 切りで考え方を投えて 視野を広げ、自らの価 値觀と比較しながら文 る。作することができ る。 「書写】 ・「書写ります。 ・「書きの本を押さえ、 ・「書きの本を押さえ、 ・「書きの本を押さえ、	(弁論) ・社会や回りの田来事 から課題を見付け、それを 解決するための方法を考 えて、他者に分かりやすく 佐わるように文章化する におできる。 ・他の発表を熱心に開き、 ・他の発表を熱心に開き、 ・他の発表を熱心に開き、 ・他の発表を勢いて関さ、 まる。	「 	体盤 世間や一般的な考えを 開また上で独自の意 風を持ち、より多くの人 ができる。 ができる。	古典・言語事項 古典作品の歴史的背景を担え、平等かつ 末柏な社会の発現し ついて、自分の考え を持つことができる。
	##に取り、ここのには、 ##に取り、ここのには、 ##なや語句、文法の 学習を通して、豊かな 語彙を身に付けること ができる。	※	この大手によりた。 この情な反駁(はんばく) やジャッジを行うにとがて きる。 [校業]	· 英	※
	「検索 専門用語が出てくる説 明文や日本国の外の文 学作品など様々な文章 を認み、内容を的端に はえる能力を身に付 け、読書を通してもの の見方や考え方を広げ ようとすることができ る。	接換	校業 ・グループ学習において与 えられた役割をこなし、積 種的に活動に取り組むこと ・ができる。 ・場面に応じた態度、声の大 きさで話すことができる。	「検索」 中部して司会を務める ことができ、語し合いが 日茶に並れように、意見 を出したり、田だ真鬼を すい、田で意見をして、グル ことができる。 ・よりまいメピーチがで ・よりまいメピーチができる。 ・よりに、様々を ・よりに、メルターを ・よりに様を繰り 返し、原稿を強えて発表。	(校表) 大様を誘う、自分と 社会の関わり、人と 自然の関わりなどに ついて考え、自分の 考えを文章化するこ とができる。
	LA典・言語事項】 古典作品に触れ、日本 の文化や言葉に親、日本 とともに、今も皆も変 わらない価値観につい て考え、文章化するこ とができる。	が職別の 対の回りから課題を見つ け、それを解決するための 方法を考え、他者に分かり やすく伝わるように文章 化することができる。	「弁論」 身の回りのできごとに注目 して題材を見つけ、それを 他者に分かるように文章化 することができる。	社会情勢などに目を向 社会情勢などに目を向 け、前向をな考えを持っ で他者に伝えることが できる。	「古典・言語事項」 物語や枚事成語など を通じて、計から伝 わる教訓の現代にお ける意義について考 えることができる。
	【書写】 格書の基本的な点面の 書き分を行書について 学び、仮名や漢字に親 学び、仮名や漢字に親 る。	「ディベート」 与えられた離園について、 現状を離解や構築器。新 開等を活用して調べ、肯定 と 否定のな場かのメリットを考え立 かるを対 シットを考え立 論を組み立てることができる。	「ディペート」 ・相手や審判に伝わるよう に話すスヒードや提線、ナンパリング等の技法を適切 に使い、話すことができる。 ・相手が言うことを素早く 書き取ることができる。	「ディペート」 周囲に気を配りつつち、 自分に与えられた役割 をしっかりと果たすこ とができる。	

10

Global Can-do List (高校 地歴・公民)

目指寸生徒像:我が国及び世界の様々な社会的事象に深い造詣を持ち,国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家社会を形成するため の自覚と資質・能力を持つ往発

				61			Ä		
u	ない事件の事件を	エ云貞MVの島職 現代社会と人間に関わる 、意欲的に課題を追究す	14体的に生き平和で民主 に向けて参加、協力する 第名果たそうとすること	と課題意識を高め、意欲 国際社会に主体的に生 5日本国民としての責務 できる。	する関心と課題意識を 勝社会に主体的12生き、 本・国民としての責任を果 る。	.対する関心と課題意識 追究し、国際社会に主体 、ての責務を果たそうと	、人間に関わる事柄に対 に課題を追究するととも こ考察しようとする態度 い社会の実現に向けて に付け、現代社会に任き 注方け、現代社会に任き	3対する長数の会に基づ 3形成について関心を高 2任きる主体としての目 意欲を持っとともに、こ 窓外を持つとともに、こ 第十ち態度を少に付け、	0
-	1 - 1 - 1 - 1 - 1	· 平	るとともに、国際社会に主体的に生き平和で民主 的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する 態度を劣に付け、その責務を果たそうとすること ができること。	【世界史B】 世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲 世界の歴史に対する日ともに、国際社会に主体的に生 き、国家・社会を形成する日本国民としての資務 を果たそうとすることができる。	【日本史8】 投が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を 高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き、 国家・社会を形成する日本国民としての責任を実 たそうとすることができる。	【地理B】 現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識 を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体 的に生きる日本国民としての責務を果たそうと することができる。	【現代社会】 現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する馴心を高め、意欲的に課題を追究するととと に、社会的事象を総合的に考察しようとする態度 と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて 参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生き る人間としての在り方生き方について自覚を深めることができる。	「倫理】 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づ いて、青年期における自己形成について関心を高 め、人格形成と他者と共に生きる主体としての自 己の確立に努める実践的意欲を持っとともに、こ れらに関わる結果題を探究する態度を身に付け、 人間をしての任り方生き方について自覚を深め ドゥンナス・ルポーキス	4769066000000000000000000000000000000000
c	コミューケーション能力	/ 史代	事柄に関する諸資料を収 様し、有用な情報を適切 に避択して効果的に活用 し、分かりやすく表現で きること。	【世界史B】 世界の歴史に関する諸資 料を収集し、有用な情報 を選択して、諸み取った り図表などにまとめたり して、適切に表現できる。	【日本史B】 我が国の歴史の展開に関 する諸資料を収集し、有 相な情報を選択して、 み取ったり図表などにま とめたりして、適切に表 現できる。	【地理B】 地図や総計, 画像など地 城に関する諸資料を収集 し、有用な情報を選択し て、誘み取ったり図表な どに主めたりして、適	【現代社会】 現代社会の基本的問題と 人間に関わる事柄に関す る語資料を様々なメディ アを通して収集し、有用 な情報を選択して効果的 に活用し、適切に表現で きる。	「倫里」 青年期における自己形成 や人間としての在り方生 き方などに関する諸資料 を様々なメディアを通し て収集し、有用な情報を 選択して効果的に百円	し,週別に水光できる。
を持つ生徒	11 12 12 12 12 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13	味趣作べ能力 歴史的・地理的事象及び 現代社会と人間に関わる	事柄から課題を見いだ し、投が国及び世界の形 成の歴史的過程と生活・ 次化の地域的特色を世界 的視野に立って多面的・ 多角的に考察し、国際社 等の変化を踏まえな正に	【世界皮B】 世界の歴史から課題を見 いだし、文化の姿像性・ 複合性や現代世界の特質 を多面的・多角的に考察 し、国際社会の変化を略 まえ公正に判断できる。	【日本皮B】 報が国の歴史の展開から 課題を見いだし、国際環 境と関連付けて多面的、 多角的に考察し我が国の 文化と伝統の特色につい ての認識を深め、国際社 会の変化を簡末え公正に 判断できる。	【地理B】 現代世界の地理的事象から課題を見いだして系統 的・地誌的に考察し、国 際社会の変化を踏まえな 正に判断できる。	【現代社会】 現代社会の基本的問題に 関わる事柄から課題を見 いだし、社会の変化や 様々な立場、考え方を略 まえ公正に判断できる。	(倫理) 他者と共に生きる主体と しての自己の確立につい で広く課題を见いだし、 人間の存在や価値などに ついて主体的かつ公正に 判断できる。	
の目覚と資質・能力を持つ生徒 -	1 日下く犯い 推業	電点、床が、教徒 我が国及び世界の形成の 歴史的過程と生活・文化	の地域的特色及び現代社会を人間に関わる事所に ついての基本的な事項を 可能し、その知識を身に 付けている。	【世界母B】 世界の配式の基 本的な事所を地理的条件 や日本の歴史と関連付け ながら深く理解し、その 知識を購広く身に付けて いる。	【日本皮B】 我が国の歴史の展開についての基本的な事情を, 日際環境と関連付けて終 合的に深く理解し、その 知識を幅広く身に付けている。	【地理B】 現代世界の地理的事象に ついての基本的な事所や 追究の方法を十分理解 し、その知識を幅広く身 に付けている。	【現代社会】 現代社会の基本的問題と 人間としての在り方生き 力とに関わる基本的な事 柄や、学び方を深く理解 し、その知識を幅広く身 に付けている。	「倫理」 特年期における自己形成 や外間としての在り方生 や外に関わる基本的 な事柄を、他者と共に生 きる主体としての目こ確 立の課題とっなげて理解 したをはったがに理解	し、人やがMachiniaを 観として身に付けている。
N	資質	能力	解說			ь ф			

	[政治経済]	【政治経済】		【政治経済】
	現代の政治, 経済, 国際 関係に関する基本的な事	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を	現代の政治, 経済, 国際関係に対する関心を局め, 意欲的に課題を追究するとともに, 国家・社会の -
	柄や, 本質, 特質及び動 向を捉える基本的な概念	題を見いだし、望ましい 解決の在り方について,	様々なメディアを通して 収集し、有用な情報を適	一員として平和で民王的な社会生活の実現と推 進について客観的に考察しようとすることがで
	や単論を単解し、その知 職を身に付けている。	社会の変化や様々な立場、老之方を踏まえ公正	切に選択して,効果的に 活用するとともに,分か	°° W
		に判断できる。	りやすく表現できる。	
	【世界史B】	【世界史B】	[世界史日] 出日の時十分世後	[世界史B]
	国外の歴史についての基本的な事柄を推開を推開の条件	国外の開大から いがし、 女化の多様件・	国外の歴史に関する語貨 料を収集し、有用な情報	国外の超光に対する場合と联盟局限を持ち、原供 地に追発するアナギに、国際社会に中体的に在
	や日本の歴史と関連付け	複合性や現代世界の特質	を選択して, 読み取った	き, 国家・社会を形成する日本国民としての責務
	ながら理解し, その知識	を多面的・多角的に考察	り図表などにまとめたり	を果たそうとすることができる。
	を身に付けている。	し、国際社会の変化を踏まった。	して、適切に表現しようにナット	
		まんな正に対極しようのすることができる。	C 9 0 - C 11 C 0 0 0	
	[日本史B]	[日本史B]	[日本史B]	[日本史B]
	我が国の歴史の展開につ	我が国の歴史の展開から		我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を
	いての基本的な事柄を,	課題を見いだし, 国際環	する諸資料を収集し,有	持ち, 意欲的に追究し, 国際社会に主体的に生き,
	国際環境と関連付けて総へがに無知。	境と関連付けて多面的・	用な情報を選択して、読え時、中では、	国家・社会を形成する日本国民としての責任を果まる。
9年	加西に が動い が動い がすい がすい がすい がすい がすい がすい がすい がす	多角的に名祭し、 おか国 のマケケケ伝統の特色に し	み取ったり図表などにまったもの。 海型に歩	に 布ンとすることができる。
1	,	いての認識を深め、国際	現しようとすることがで	
		社会の変化を踏まえ公正	ゆる。	
		に判断しようとすること		
	[幸胜口]	ないの。	【日世界】	[李雄氏]
	現代世界の地理的事象に	現代世界の地理的事象か	よが出り。 対区や統甲、回像などあ	よが正し。現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識
		ら課題を見いだし, それ	域に関する諸資料を収集	を持ち、それを意欲的に追究し、国際社会に主体
	通究の方法を理解し, そ (行業 * 豊い 仕さ / :)	を系統地理的に考察した	し、有用な情報を選択しニュニュニュニュニュー	的に生きる日本国民としての責務を果たそうと ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	の対戦かずに付けている	り、歴史的官点を踏まれて書話的に素徴したり	1、 売を受りたり図表な ブアープをやって、 連	することができる。
	8	し、国際社会の変化を踏	切に表現しようとするこ	
		まえ公正に判断しようと	とができる。	
	[世界中 A]	することができる。	[世界中A]	[世界中人]
	近現代史を中心とする東	現代世界の諸課題を歴史	近現代史を中心とする世	** 1.1. 1.
	界の歴史についての基本	的観点から考察し、国際	界の歴史に関する諸資料	と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、
	的な事柄を地理的条件や	社会の変化を踏まえ公正	を収集し,有用な情報を	国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日
	日本の歴史と関連付けないと無いの歴史と関連付けない。		選択して、読み取ったり 図書などにキャぞ々なア	
	ずび年からいる。		して適切に表現すること	
			ができる。	
	【現代社会】 理仏社会の基本始問題 1.	【現代社会】 現仏社会の基本処間暦に	[現代社会] 理及社会会基本始問題 1.	[現代社会] ヨルムムのギャが開路し、開い開ムフェー
1年	光 化五字の 本本的 同種 こ 人間と しての在り 方生き	現した正式の 基本的回題に関わる事柄から課題を見	発に住宅の基本的问題で 人間に関わる事柄に関す	名したの第4kble圏C人間に選びの事情に対 する関心を持ち、意欲的に課題を追究しようとす
	方とに関わる基本的な事	いだし, 社会的事象の本	る諸資料を様々なメディ	るとともに, 社会的事象を総合的に考察しようと
	柄や, 学び方を理解し, その作業さら7.4.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7	質や人間としての在り方 チャギにの、アガ、油野	アを通して収集し, 有用 も無割も ※ 四に 30 は	する態度と平和で民主的なよりよい社会の実現い合はアを出て参加。対土よる整備をあたけばよる。
	んのお頃の女に行って、	生きカについて広い視野に立って多面的・多角的	な情報を週辺に選択して、効果的に活用して学	に同けて参加、陽力する歴度で身に行けようとし、現代社会に生きる人間としての在り方生き方
		に考察しようとしてい	び方を身に付けている。	について自覚を深めることができる。
		る。また、社会の変化や		
		様々な工物、丸スカや塩キックドに到廃し下っプ		
		することができる。		

10

Global

目指す生徒像:国際社会に生きる平和で民主的な国家

東西・山下 1217によっとの1200mmとか、 中暦史地図、映像など歴 対する1980にでいい、 ここここここで表現。 まな流れや各時代の特色など多 史に関する様々な資料を「記録し、広い視測に立って投が、 面的・多角的に考察し、公正に判断 収集し、有用な情報を適 国の伝統と文化について考え、国 して、その過程や結果を適切に表現 切に選択して、 跳み取っ 民としての自覚を持つことができてきる。 たり図表などにまとめた 5。 フレイクかりやすく表現 りして分かりやすく表現 の観点を基に多面的・多角的に考察 | 適切に選択し、その情報 | 日本の諸地域や身近な地域の特色 や課題を追究するとともに,課題の ついて読み取ったり,図 解決策等を意欲的に考えることが 表にまとめたりすること できる。 近世・近代における歴史的事象に [歷史的分野] 近世・近代に関する年表 や歴史地図,映像など歴 から日本の地域的特色に [歷史的分野] ができる。 我が国の歴史の大きな流 近世・近代における歴史的事象から し,その過程や結果を適切に表現で きる。 課題を見いだし、我 きな流れや各時代の 面的・多角的に考察 して、その過程や結 について, 多面的・判断し, その過程や 世界と比べた日 課題解 的・多角的に考察 踏まえ公正に判断 結果を適切に表現 近代・現代におけ、 現代の社会的事象 だし、社会的事象 社会生活及び政治や経済 | 相互の関連などを 題の解決策を,対 と公正などの見方 した、多面的・多 様々な考え方を踏 して、その過程や ・地球表面上にお 世界の中での日本 日本国内の様々な ルギーと産業」「地 の意義や特色, * ・世界と比べた日本の地 を, 「自然環境」「 我が国や世界! 社会的事象の意義や特 象から課題を見 [歷史的分野] 【公民的分野】 【地理的分野】 [歷史的分野] 現できる。 現できる。 時代の特色を踏まえて理 面解し、その知識を身に付し、 けている。 時代の特色を踏まえて理解し、その知識を身に付 色, 相互の関連を理解し, その知識を身に付けてい 我が国の歴史の大きな流 に, 近代・現代における各 現代社会についての見方 や考え方の基礎, 現代の の基本的な考え方, 社会 的事象の意義や役割,相 的視野や日本全体の視野 から見た「自然環境」「人 に,近世・近代における各 れを, 世界の歴史を背景 **割板構成や様々な地域区** 域的特色について, 世界 口」「資源・エネルギーと れを, 世界の歴史を背景 その知識を身に付けてい ・世界の中での日本の位 とその現状・課題, 日本の 分について理解し、それ らの知識を身に付けてい 我が国や世界における 置, 日本の領域の広がり 産業」「地域間の結びつ き」を理解し、その知識を 五の関連などを理解し, 幅広く深い教養 身に付けている。 [歷史的分野] 【公民的分野】 [地理的分野] 【歴史的分野】 3# 資質 解説 2年

1	(日) (日) (日)			#1	【地理的分野】	【地理的分野】	【地理的分野】	【地理的分野】
L Call up List				•	・世界の六大陸, 三大洋	・国名や国旗, 国境線の特徴が様々	・緯度と経度を使って世	・地図や地球儀に親しみ, 世界の
家・社会の形成者と	・社会の形成者として必要な公民的資質・能力をもつ生徒	力をもつ生徒		企 书	を捉えるとともに, 主な	な地理的事象と密接に関連してい	界の地点を示すことがで	国々や大まかな地域構成について
2	3	4	5	国	国の名称と位置や緯度と	ることを多面的・多角的に考察する	きるとともに,世界の大	興味・関心を持って追究できる。
解決能力	コミュニケーション能力	リーダーシップ	社会貢献の意識	一种	経度の仕組、様々な世界 地図の特徴を理解でき	ことができる。 ・世界各地の人々の生活と環境の	まかな略地図を描いた 9,統計資料を活用した	世界各地の人々の生活と環境の 多様性に対して関心を持ち, 意欲的
界における社会的事	我が国や世界における	我が国や世界における社会的事	おける社会的事	ģ		多様性を,自然及び社会的条件と関	りすることができる。	に追究することができる。
いだし, 社会的事象	社会的事象に関する諸資	象に対して関心を高め、それを意欲	言め, それを意欲	•	・世界各地の人々の生活	連付けた人々の生活の様子とその	・世界各地の人々の生活	・各州の地域的特色を明らかにす
相互の関連を多面	料から有用な情報を適切	的に追究し、よりよい社会の構築に	い社会の構築に	4 A	環境の多様性につい	変容を基に, 多面的・多角的に考察	と環境の多様性に関する	る主題を追究する学習に, 意欲的に
察し、社会の変化を	に選択して, 効果的に活	向け自覚を持って責任を果たそう	責任を果たそう	ب	て, 自然及び社会的条件	し、適切に判断することができる。	資料から,有用な情報を	取り組むことができる。
一下, その過程や	用し、分かりやすく表現	とすることができること。	71 12 20	₩ Z	と関連付けた人々の生活	・各州の地域的特色を明確にする	適切に選択して, 読み取	・国や地域の調査と, その地域的特
現できること。	できること。			90#	の様子と変容を理解し、	主題を追究し, 我が国との比較や関	ったり図表などにまとめ	色に関心を持ち, それを意欲的に追
	[歴史的分野]	【歷史的分野】		4	その知識を身に付けてい	連を図りながら,多面的・多角的な	たりすることができる。	光できる。
ける歴史的事象から	近代・現代に関する年表	近代・現代における歴史的事象に対	歴史的事象に対	vô.		思考や判断を行うことができる。	・地球儀, 地図帳, 映像資	
,我が国の歴史の大	や歴史地図,映像など歴	する関心を高め、それを意欲的に追	れを意欲的に追	·	・各州を大観する学習を	・調査対象の国や地域の地域的特	料などから地理的事象を	
時代の特色などを多	史に関する様々な資料を	究し, 広い視野に立って我が国の伝	って我が国の伝	1浬	通して, 基礎的・基本的な	色を捉える適切な主題を設定して,	読み取り,それらの学習	
考察し, 公正に判断	収集し、有用な情報を適	統と文化について考え,国民とし	考え,国民として	知	知識を習得し、主題追究	世界の地域の調査を行う際の視点	成果を略地図などにまと	
や結果を適切に表現	切に選択して, 読み取っ	の自覚を持つことができる。	いてきる。	-	学習により, 各州の地域	や方法を基に多面的・多角的に考察	めることができる。	
	たり図表などにまとめた		,	1年 的	的特色を理解して, 世界	し,その過程や結果を適切に表現で	・調査対象の国や地域の	
	りして分かりやすく表現			9	の諸地域にしいたのイメ	w So	調査と地域的特色に関す	
	できる。			ĵ'	ージを構成できる。		る資料を収集し,有用な	
	【公民的分野】	【公民的分野】		tine:	調査対象の国や地域の		情報を適切に選択して、	
(象から課題を見い	統計や新聞、映像など現	特続可能な社会の形成に向け社会	形成に向け社会	2鰡	調査について, 地域的特		読み取ったり図表にまと	
「象の意義や役割、	代の社会的事象に関する	参画するに当たり,自然と環境,人	自然と職境、人	()	色とともに,世界の国や		めたりできる。	
を、解決すべき課	様々な資料を収集し、有	権と平和、医療と開発などのテーマ	発などのテーマ	地	地域の調査を行う際の視			
対立と合意、効率	用な情報を適切に選択し	に関連した知識が基礎となること	基礎となること	小	点や方法を理解し, その			
1方や考え方を活用	て, 読み取ったり図表な	を理解するとともに,現代の社会的	こ, 現代の社会的	知影	知識を身に付けている。			
多角的に考察し、	どにまとめたりして分か	事象に対する関心を高め、それを意	を高め、それを意		【歴史的分野】	【歷史的分野】	【歴史的分野】	【歷史的分野】
・踏まえ公正に判断	りやすく表現できる。	欲的に追究し,広い視野に立ってよ	視野に立ってよ	我才	我が国の歴史の大きな流	古代・中世における歴史的事象から	古代・中世における年表	古代・中世における歴史的事象に対
や結果を適切に表		りよい社会を考え,公民としての自	公民としての自	n	れを, 世界の歴史を背景	課題を見いだし, 我が国の歴史の大	や歴史地図, 映像など歴	する関心を高め,それを意欲的に追
		覚を持つことができる。	% %	ਸ਼੍	こ, 古代・中世における各	きな流れや各時代の特色などを多	史に関する様々な資料を	究し,広い視野に立って我が国の伝
				時	時代の特色を踏まえて理	面的・多角的に考察し、公正に判断	収集し,有用な情報を適	統と文化について考え,国民として
	【地理的分野】	【地理的分野】			解し,その知識を身に付	して,その過程や結果を適切に表現	切に選択して, 読み取っ	の自覚を持つことができる。
こおける時差の存在,	・世界の中での日本の位	・世界の中での日本の位置や広が	本の位置や広が	141	ている。	である。	たり図表などにまとめた	
本の位置や広がり,	置を示す様々な方法や,	り, 日本国内の地域構成や地域区分	構成や地域区分				りして分かりやすく表現	
な地域区分の指標	日本と各地との時差を計	に関心を持ち,地球儀や地図を活用	機や地図を活用				できる。	
的·多角的に考察·	算し時刻を求める方法,	して, それらの事象を意欲的に追究	を意欲的に追究					
程や結果を適切に表	日本の略地図を描く方法	19th 20°						
	を身に付けている。	・世界的視野から見た日本の地域	見た日本の地域					
ミ日本の地域的特色	・世界と比べた日本の地	的特色や, 日本全体の視野から見た	の視野から見た					
「人口」「資源・エネ	域的特色に関する様々な	大まかな国内の地域差に関心を持	城差に関心を持					
「地域間の結び付き」	資料から,有用な情報を	ち、それらを意欲的に追究できる。	が いい 追究できる。					
. 旧名。各年記了 地震		ことには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これ	正な書籍と報在					

Ξ

Global Can-do List (高校 数学)

目指す生徒像:数学的活動を通して、事象を考察し表現する能力を高め、論拠に基づいて判断できる生徒

				6/1			
5	社会貢献の意識	現代社会における諸問 題に対して, 繁学的思 考・知識をどのように生 かしていくかを意識で きること。		数学が様々な事象の考察に活用されていることを知り、現代社会におけられているこけを知り、現代社会における精問題に対して、数学的思考・知識をとうよ	かしていくかを考える ことができる。		
(中国) できる生化	リーダーシップ	自分の意見・他者の意 見を数学的根拠に基づ いて、判断・説明でき、 主体的に意見をまと か、正しい方向にもっ ていくことができるこ と。		グループ学習等におい て、主体的に他者の意 見・自分の意見を整 理・第台、エレッ方	Julicもつ いいく ことができる。 できる。		
14日9 14氏 15、 ※ 14日 17日 17日 17日 17日 17日 17日 17日 17日 17日 17	コミュニケーション能力	自分の考えを, 的確に相 エーでたえることができる こと。相も考えを理解 し, コミュニケーション を図ることができること。	・自分で考えたその解決 を他者へ明確に伝えるこ とができる。・他者の解法について、 活発に質疑を行うことが できる。	ゲループ学習等の場面 で、自分の考えを、相手 に伝えることができ、ま た相手の考えを理解する ことができる。		問題に対する自己の解法 を説明することができ る。グループ学習を通し て1つの問題を相互に考 えることにより,自己の	考えを表現するととも に、他の考えも精極的に 取り入れることができ る。
(、 中≪かん※し次光ッの 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	課題解決能力	1つの問題に対して、関 通する公式や定理を複 数使い、解決を構築でき ること。事象に対して数 学的た見 万やき え 方を 生か すことができること。	・基礎基本が徹底しており、発展問題への意欲・ 関心を持つことができる。 ・自ら課題を見いだし、 考察・処理し、課題解決 に取り組むことができ ため、	自分の特でる知識・技能 をすべて活用して、課題 解決に取り組み、数学的 な資質・能力を伸ばすこ とができる。		基礎的・基本的な知識や 技能を身に付け、課題を 解決する際、既習事項を どのように組み合わせ て解けばよいか理解で	ф 18
(定) (成) (成) (成) (成) (成) (成) (成) (成) (成) (成	幅広く深い教養	類的好命心, 直視力, 消 勢力, 論理的思考力など の創造性の基礎を養い, 複数分野を離合させた 事項を多面的に投え。 しい数学的推論によっ て得られた結果に基づ いて合理的に表現でき る力が備わっているこ	。 もる課題に関心を持ち、 その解決に当たって、学 習した知識等を基に一 般的な方路などを見い だし、適切に処理すると ともに、数学的によりよ く表現することができ る。	ある課題に関心を持ち、 その解釈に当たって、学 習した知識等を基に一 般的な方解などを見つ けて、それを適切に表現 することができる。		課題の解決に数学のよ さを活用していこうと する態度が育成され、数 学の学習の必要性が認 識できるようになり、具	体的な事象を数学的に 処理するための基礎を 身に付けることができ る。
No.	質買 能力	角军部先	3年	2年			1年

Global Can-do List (中学校 数学)

日相9年	: 佐像: 数字的店割を囲し	日右9年候隊:数字的召割を通して、者録むな構造を見せ・役割についての理解を深め、	法則についての対解の深め	石用し	りできる生徒
No.	T	2	3	4	ę
資質能力	幅広く深い教養	課題解決能力	コミュニケーション能力	リーゲーシップ	社会貢献の意識
角军武光	知的好奇心、直視力、洞 察力、論理的思考力など の創造性の基礎を養い、 複数分野を融合させた 事項を多面的に捉える 方が備わっていること。	1つの問題に対して、関 連する公式や定理を複 数使い、解注を構築でき ること。問題を明瞭に発 見し、解決することので きる「やび方」を習得で きること。	自分の考えを的確に相手 に伝えることができるこ と。相手の考えを理解し コミュニケーションを図 ることができること。	主体性を持ってコミュ ニケーションを図り, 協議をし、発問に対す る考えを述べることが できること。	学んだことを応用・発展 させて、現代社会におけ る問題解決に数学をと のように生かしていく かを意識していること。
34	・教の概念の幅を更に広 だ。大はこういてより進ん だる大力や後い方を理 痛くみたり後し きる。 ・ 区形の性質や計量につ ・ 文田の性質へも震すり ・ いて一層深くも察する に とや見いだした性質 や定理を具体的な場面 で活用することができ る。	・身の回りの事象について数学を使って解決するにとができる。 あにとができる。 ・解注や根拠となる事務 を精緻することができる。 る。	・自己の考えを分かりや すく伝えたり、相手の考 えを基に考えたりするこ とができる。 ・コミューケーションに おいて、話すだけでなく、 語とかんを意識した部項が できたり、積極的に数学 一部にもいを通して、す っこができる。 ・「話しかいを通して、す りよい解注を導き出す。	- 1 つの問題をグルー アで話し合う中で、質	
2年	・既置事項の文字を用い た基本的な操作ができ 数量の関係を一般的、能 準的に考察し、処理する ことができる。 ・図形の性質などを、観 繁、操作や実験などの活 動を通して見いだし、そ れを簡単的に確かめる ことができる。	問題の目的に合わせて 必要な情報を収集し問 題解決のための手順・手 段を精選することがで きる。	・自己の考えを分かりや すく伝えたり、相手の考 えを取り入れようとした りすることができる。 ・コミュニケーションに おいて、話すだけでなく、 語がした 高すだけでなく、	際にだり、目亡や他者 の意見をまとめたり、 の意見をまとめたり、 るを取り入れたりと積 極的に意見交換ができ る。 ・自分の考えが言え、 他者の意見に耳を傾け ることができる。	課題学習などを通して、 身近な問題を販習事項 を生かしが終た、課題 解決の書びを感じた。 別代社会と数学との関 わりを感じたりするこ とができる。
1年	・数の範囲を拡張し、文 学を使った式の意味を かり活用することができる。 ・図形に対する直観的な 見方や考え方を深め、論 理的に考察し表現する ことができる。	身の回りにある数学的 なことがらに興味や題 心を持ち、解決のために 既閏年頃を用いようと することができる。	monav. ca. たり、 に数学用器を使って話したりすることができる。 ・話し合いを通して、すりよい解注を導き出すことができる。 とができる。		

14

目指す生徒後:自然の事物や現象について幅広く理解し、目的意識を持って科学的に探究し、科学的根拠に基づき協働して思考、判断、 行動することができる生徒 Global Can-do List (高校 理科)

	5 社会貢献の意識	・生命を尊重し、類談を 保金するための総合的 なものの見方が身に付 いていること。 ・科学・技術と社会・環 境との関わりについて 理解し、持続可能な社会 を創造しようとする意 職を持っていること。	・生命と自然環境を導重 するとともに、社会で起 こる様々な出来率に興 珠・駒心を持ち、寿学技 術と職業との関連を理 解し、建路や職業選択に 優立ることができる。 ・科学技術が環境や社会 に及ぼした影響を正 に及ぼした影響を正 に及ばした影響を正 く評価し、持続可能な社 会を構築するために科 学技術をどのように役 立てればよいか考える ことができる。	・生命と自然環境を準備 するとともに、社会で起 にる様々な出来事に実 味・腹心を持ち、発学技 術が様々な職業と関連 していることを理解す ることができる。 ・科学技術が及ぼした環 増を理解し、希望の持て るないとのである。 ががどっあるべきか考 をがどうあるべきか考 えることができる。	・生命と自然環境を幕重 するとともに、環境保令 や生活水準の向上に寄 与しようとすることが できる。 ・社会で起こる様々な出 米事に異味・関心を持 ち、科学技術が様々な職 業と関連していること を理解することができ る。
	リーゲーシップ	・客観的事実・説明に 対し、離底に耳を値す 目の意識を持って影像 して課題に対処できる こと。 ・科学的・客観的報題 を基に目断や実験をし たり、説明や路得を たり、説明や路得を たケームをまとめられ ること。	・目的意識を持って、 トリ質の高い学び合い を記したができる。 ・問題や課題と正、科学 的な保護に基づい、科学 的な保護に基づいて、 一部に、東学 のな保護に基づいて、 一部に、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が	毎次して意見。質問。 精験・精験ができる職 現を作るととして、問 個や課題を 正く器 職・理解し、解決する ために何が必要が何を ために何が必要が何を することができる。 することができる。	後かして意見。質問。 提案、評議ができる職 複巻作るともに、問 題々課題を正しく認 職・選解し、仲間に何 を伝えることが必要か を考えて、より質の高 ができる。
	3コミュニケーション能力	・実験・観察・観点を通し 「着き 担した意見や考え を、繋や的方法型を含める 自語により、第三者に分か りやすく説明できること。 ・その認明で対して機間、 を終げたり、質問に対して機関 を終げたり、質問に対して を機関が正認を確認を示し を放り。 といるの説明するなどして を対しる説明するなどして が認識を深められること。	・実験や観察・調査を延順 的に行い、グラフや数式を 用いて注明化した抽象的 な概念を、科学の用部や数 学的方法を用いて説明で きる。 他の班の実験結果・解 教・意見について質問がで きる。 「個別に科学用語や数式を 用いて訳差も考慮しなが 所に、科学用語や数式を 所に、科学用語や数式を 所に、科学用語や数式を の言葉論をすることができ る。	・実験・観察・調査を定量 的に行い、その結果をグライを数式を入り イを数式を用いて法則化 した相像的な概念・科学 の用語や数学的方法を用 いて説明できる。 他の班の実験結果・解 発・意見について質問ができる。	・実験・観察・調査を、数 量を意識して行い、その結 果を方プイトの最大化など の方式でまとか、その結びを を基に、抽像的な概念や科 学の用語を使って、実験結 学の用語を使って、実験結 中の項の実験結果・解 種・意見について質問がで きる。
1	2 課題解決能力	・自然料や社会で生じる 様々た現場や出来事の 中に課題を終って、新たな用 調やモデル、解除するた めの解析的が必要を指案。 できること。また、その 結果の考熱から、よりよ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・様々な自然別線を春谷子 的な推動に基づいて実 最一端紫を面に対すてで、女の回りの 様々な問題に対応する ことができる。 よりない場点とより広 いりはいめまたより広 してり、世野したのできる。 したり、世野したのできる。	・事物・現象を科学的1元 指文人の理解する知識 や、定量的で起える手数 精度の高い実験・観察・調査力法・グラフ 化・定式化等の方法な 化・企式化等の方法な が、発展・研究の高い実験・ 実験・観察の高い姿態・ 解集なた上で替生的フ 市大工業を が、大工で存集的 が、大工の存集的 が、大工で存集的が 高い実験・観察を提案で きる。	・事物・現象を科学的に 据文とり組解する知識 や、定量的に捉える手法 (電影・調整方法 をグラフ化の方法など) を対「フィレン方法など」 ・実験・観察の脚落を理 解し、その原因を確まえ た上でより必要とされ る構度の3額・観察を描 条できる。
7, 27, 10, 10, 10, 11	1 幅広く深い教養	 自然の事が・現象について、基本的な概念や原理・法則などの意識を担理・法則などの意識を担て、、、、、少につけてきること。 かくさったができること。 かくこりた科学的句識を活用して推論ができること。 	・様々な事が・自然場象 名、抽線的、機等的概念 や科学的日語と関連付 リイで記載できる。 ・観察・実験結果を定職 的に体系化・法則化できる。 なくともに、科学的報 るとともに、科学的報 なとが用金 ないませる事業の主義を用いて様々 なり手法を用いて様々 なり乗送を前型的に様 は、活用ができる。	・様々な事が・自然現象 名、抽動的概念ですが今時か 円部と関連させて認識 ・観察・実験結果を定量 的に体系化・注明化でき がといた。ともに、科学的概 念、科学中語 念、科学中語 会、科学の語 会、科学の語 会、科学の語 会、科学の語 会、科学の語 会、科学の語 会、社会、表現象を 推論や语用ができる。	・身のまわりの事物・現 象を、抽紙が概念や特学 的用語(神物名、現象名、 近期名なり、医歴させ で出解できる。 ・観察・実験結果を定置 的に体系化・法則化でき るとともに、抽象的概 るとともに、抽象的概 るととした。 を料用版、法則など を用いて様々な現象を 診明できる。
	W 資 能 質 不	9444 2014 2014 2014 2014 2014 2014 2014 2	34年	42	1年

Global Can-do List (中学校 理科)

日指す生徒像:自然の事物や現象について興味・賜いを持ち、目的意識を持って科学的に探究し、科学的根拠に基ろき協働して思考、判断、行會する・ソポセネンキな

No.	Т	7	20	4	ę
11年	幅広く深い教養	課題解決能力	コミュニケーション能力	リーゲーシップ	社会貢献の意識
角军部	・自然の事物・現象について、基本的な概念や気 単・法則などの互職を担 罹し、科学的なものの最 方や考え方ができるこ よ。 ・対このけた科学的知識 を活用して指輪ができること。	・自然界や社会で生じる 様々な現象や出来物の中 に課題を発見し、その所 図を探って、新たな地 やモブル、解決するため の科学的方法を提案。で きること。また、その結 男の考集から、よりよい 解決策を提案できること。。	・実験・観察・調査を通し て薄き出した意見や考え を、数学的方法型を含めた 言語により、第三者に分か りやすく協明できること。 その説明に対して疑問点 を挙げたり、質問に対して 発調的活型や強型を示した がら説明するなどして議論 を添められること。	・谷磯的事実・説明に 対し、謙虚に「4を値け、 目的意識を持って協働 して課題に対処できる こと。 ・科学的・名線的根拠 を基に判断や没額をして、 でチームをまとめられ ること。	・生命を準重し、環境を 保全するための場合的 なものの見方が身に付 かていること。 ・科学・技術と社会・環 機との関わりについて 理解し、持続可能な社会 を創造しようとする意 を創造しようとする意 観念符っていること。
3年	身の回りに存在する事物 今身の回りに在753段条 今身の回りで生753段条 近、エネルギー・原子・ 場底子など抽象的概念と も関連させながら理解 し、観察・実験の結果を 同語・法側など)との関 線を、法側など)との関 通において理解できる。	・身の回りに存在する事 物や身の回りで生じる現 象について観察、実験を 行い、その結果について 規則性や管置性を見つけ られる。 より適切が影響を機 を行うための政良方法や 理解を深めるための実 願・観察方法を継案でき る。	・実験・観察・調査の基本 機体を発行するとともに、 結果を整理し、得た基別。 ら自らの意見や考えを、相 象的な概念や科学の用語。 図、グラブなどを用いなが ・他の毎の発表・解釋・意 見について質問したり、質 開に対して根拠を基に誘到 できる。	班・クラス内で安心し で意见。質問、複素 お縁ができる環境を作 おともに、安全に配 億し、より質の高・職 紫・契鄭に取り組立雰 囲気作りができる。	・生命と自然環境を参加 するとともに、環境保金 与しまる・生のもに、環境保金 与しまってする姿勢が、 身に付いている。 ・科学技術の様々な職業 ・科学技術の様々な職業 を専用難し、将来の進路や 職業選択に生かすこと ができる。
2年	身の回りに存在する事物 今身の回りで在たる事務 今身の回りで生じる現象 が5. 程鉄・3線を右下いた が5. 科学の基本概念や所 理・24は、多様性や規則 増たどとして機能し、着 第が用語(側移名、現象 名、送別なよ)との隔値 において選解できる。	身の回りに存在する事物 今身の回りで生じる現象 6、複換・実験のが像と して認識し、複終・実験 の結果から規則性や階値 性を見つけることができ る。	実験・職等・職権の基本機 作を習得するととに、そ の結果を整理し、プラフル どで妻された結果を科等的 に解釈して結論を説明でき る。	班員やクラスメートが 安心して意見や薬問む 送ったり、提案したり しやすい環境を作ると ともに、安全を考慮し た観察、実験を行うこ と報報、実験を行うこ とができる。	・生命と自然環境を尊重 する姿勢が1身に付いて いる。 科学技術が1日常生活や 社会を認めいに、様々な 電業とも関連でいる ことを理解できる。
1年	身の回りに存在する事物 や身の回りで生じる現象 を、観察、30歳を行いな がら科学の対象として信 職、整理し、科学的用語 (器具名や説明など)と の関連において理解でき る。	身の回りに存在する事物 や身の回りで生じる弱象 む、観察・実験の対象と して認識し、観察・実験の 結果を自分の高級・加職 に照らして解釈・表現で きる。	実験・観察・開客の基本機 作を習得するととした。グ ラブなどで表されて結果や 記拠を基に自らの意見や考 えを説明できる。	班員やクラスメートが 安心して意見を述べら れる報照気を作るとと おに、安全に配慮して 観察・奨験を行うこと ができる。	・生命と自然環境を尊重 する姿勢が身に付いて いること。 お学技術が日常生活や 社会を豊かにしている ことを理解できる。